

第1回定時総会・第2回理事会

平成23年5月21日(土)

名古屋大学東山キャンパス

一般社団法人軽金属学会

一般社団法人軽金属学会 第1回定時総会議事次第

1. 開会	
2. 議長確認選出	
3. 議事録署名人の確認	
4. 議事	
第1号議案	
平成22年度事業報告に関する件	1
第2号議案	
平成22年度決算報告に関する件	24
第3号議案	
平成23年度事業計画に関する件	52
第4号議案	
平成23年度収支予算に関する件	55
第5号議案	
名誉会員の推薦に関する件	77
第6号議案	
理事及び監事の報酬に関する件	78
第7号議案	
会費に関する件	79
第8号議案	
平成23・24年度役員を選任に関する件	80
5. 閉会	

一般社団法人軽金属学会 第2回理事会議事次第

1. 開会	
2. 議長選出	
3. 議事録署名人の確認	
4. 議事	
第1号議案	
会長及び副会長選任に関する件	82
第2号議案	
役員の仕事担当に関する件	82
参考資料	83

一般社団法人軽金属学会

第 1 回 定 時 総 会

【第1号議案】

平成22年度事業報告に関する件 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

I. 事業の状況

本年度は従来同様の活動に加え、平成22年9月5日～9日にパシフィコ横浜で第12回アルミニウム合金国際会議(ICAA12)を開催し、29か国から498名の参加者を得て412件の発表が行われ、盛況裡に終了した。新法人への移行について、公益型で非営利性が徹底された法人である「一般社団法人(非営利型法人)」への移行申請を行い、平成23年3月に認可を得て、同4月1日付けで一般社団法人の設立登記に至った。また、平成23年度に実施する軽金属学会発足60周年記念事業について検討を進めた。さらに、軽金属学会の強みと弱みに関するアンケートを実施し、当学会として今後対応すべき課題を抽出した。主要な活動内容は以下の通りである。

[1] 研究会、学術講演会等の開催(定款第5条第1号)

1. 研究講演発表会

(1) 第118回春期大会

会 期 : 平成22年5月22日(土)、23日(日)
会 場 : 関西大学千里山キャンパス
実 行 委 員 長 : 杉本隆史(関西大学)
定 時 総 会 : 平成22年5月22日(土)
表 彰 式 : 平成22年5月22日(土)
研 究 発 表 講 演 : 発表件数 152 件
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン : 5月22日(土)、23日(日) 31 件
機 器 ・ カ タ ロ グ 展 示 : 5月22日(土)、23日(日)
会 員 懇 親 会 : 5月22日(土) 関西大学 100 周年記念会館

(2) 第119回秋期大会

会 期 : 平成22年11月13日(土)、14日(日)
会 場 : 長岡技術科学大学
実 行 委 員 長 : 鎌土重晴(長岡技術科学大学)
定 時 総 会 : 平成22年11月13日(土)
表 彰 式 : 平成22年11月13日(土)
研 究 発 表 講 演 : 発表件数 158 件
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン : 11月13日(土)、14日(日) 41 件(内欠講3件)
機 器 ・ カ タ ロ グ 展 示 : 11月13日(土)、14日(日)
会 員 懇 親 会 : 11月13日(土) 長岡グランドホテル

2. シンポジウム、セミナー等の開催

	名 称	開催日	開催場所	参加者数
1	第86回シンポジウム「軽金属の特殊加工」	平成22年4月16日	千葉工業大学	42名
2	第30回軽金属セミナー 「アルミニウム合金の状態図と組織」(第7回・最終回)	平成22年6月4日	日本大学理工学部駿河台校舎	35名
3	軽金属基礎技術講座「アルミニウムの製造技術」	平成22年9月 16日、17日	ヤマハリゾート つま恋	26名
4	第31回軽金属セミナー 「アルミニウム合金の時効析出」(第3回)	平成22年12月3日	ウインクあいち	28名

[2] 学会誌、学術図書等の刊行(定款第5条第2号)

1. 会誌「軽金属」等の編集発行

本年度は、Vol. 60.4～Vol. 61.3までの12冊を発行した。会誌の掲載内容の分類は、次の通りである。

区 分	編数	区 分	編数	区 分	編数
巻頭言	2	技術報告	2	研究室／研究所紹介	2
研究論文	59	連載講座	6	国際会議便り	2
研究ノート	2	新製品・新技術紹介	1	支部編集特集	13
解説	9	随想	5	はぐくむ	2
LMIレビュー	0	LMコラム	6	掲載総数	111

2. 研究部会報告書の発行

NO.	名 称	発行日
52	「新しい押出加工を目指して」	平成 22 年 7 月 31 日
53	「Al-Mg 合金溶湯と硫酸バリウム添加耐火物の濡れ性および反応性」	平成 22 年 12 月 1 日
54	「アルミニウム板圧延における板厚変動・ずれ発生のメカニズムとその対策事例」	平成 23 年 1 月 31 日

3. その他刊行物

名 称	発行日
第 118 回春期大会講演概要集	平成 22 年 4 月 22 日
第 119 回秋期大会講演概要集	平成 22 年 10 月 13 日

【3】 研究及び調査の実施(定款第 5 条第 3 号)

研究部会に関しては、前年度より継続の7つの部会に加えて、9 月より新たに「高機能押出加工技術研究部会」が発足し活発な研究事業を実施した。常設部会に関しては、組織制御、展伸材プロセス、力学特性、表面処理、溶解・凝固・鑄造の 5 つの常設部会の合同提案による「自動車用アルミ合金の低コスト化技術」WG 立上げの検討が進められた。なお、常設部会の進め方については再検討を行なうこととしている。

	部 会 名	課 題	研究成果概要
1	アルミニウム板のトライボロジー研究部会 (1 年間延長後 22 年度末終了)	アルミニウムの圧延において表面品質に優れた板材を提供できる基本条件を見出すこと	1. アルミニウムの熱間圧延のロールコーティングの生成挙動 改造圧延ロールの表面分析および断面観察から、ラボ圧延機でロールコーティングの形態におよぼす油性剤の影響を調査した。平成18年秋、1件発表。 2. 冷間圧延の磨耗粉発生挙動の解明 ラボでの圧延試験にて磨耗粉発生挙動と油中水分量に相関関係があることを明らかにし、さらに各社の実機での現象を含めて季節的な因子との関係を考察した。平成 18 年秋、1件発表。
2	高機能押出加工技術研究部会 (22 年 9 月開設、25 年度末終了)	押出材の表面欠陥の抑制など従来の押出加工技術の向上と時代の要請に対応した機能的な押出加工技術の創成を行なう	初年度ということで、以下の3テーマを抽出し、その進め方について協議した。 1. 難加工材料の押出加工技術の検討 2. 7000系合金の押出シミュレーションの検討 3. 押出材表面の形成に関する研究
3	摩擦攪拌プロセスによる接合と表面改質研究部会 (1 年間延長 23 年度末終了)	摩擦攪拌プロセスの諸現象と継手強度、表面改質などに関する調査・応用研究	1. 供試材(A7075-T6 材)をFSW法で接合する際、接合線と圧延方向が平行な場合と直角の場合とで、引張強度が異なる。平行な場合は 516 MPa、直角の場合は 415 MPa。 2. ダイカスト材と展伸材のそれぞれの共通試料は、日本大学および大阪府立産業技術研究所で作製した。条件設定および機械的特性がほぼ同程度であることを確認した。 3. A7075 -T6 と O 材の摩擦攪拌接合継手に対するビッカース硬さ特性は、T6 材では接合部の硬さが母材部より低下してしまうが、O 材では接合部の硬さは母材部より増加する。継手を自然時効処理すると、T6 材の接合部の硬さは、母材部の硬さに及ばないものの、接合まま材よりも増加し、O 材の接合部の硬さは接合まま材よりもさらに増加する。ビッカース硬さ分布から接合方向による異方性は見られない。
4	集合組織研究部会 (1 年間延長 23 年度末終了)	集合組織を十分理解し、工業的応用への展開を図ること	1. 同一のチタン試料を用いた集合組織測定ラウンドロビンテストを行い、その結果を平成 22 年度第 1 回研究部会で報告した。六方晶金属の場合、ソフトウェアによって集合組織の表示法(座標軸のとり方など)が異なるために、解析結果が見かけ上、異なることが問題となり、装置メーカーを含めて検討した結果、少なくとも本研究部会メンバーの間では表示を統一することにした。集合組織表示法の統一については、シンポジウムや報告書などを通して学会員に発信していくことを考えている。 2. 3 つのサブグループから、それぞれの個別研究の成果が報告された。研究部会内でこれまで行ってきた活動報告に基づいて、次年度に開催するシンポジウムの講演者をほぼ確定した。今後、最終報告書(シンポジウムテキスト)の内容と執筆分担を決定する必要がある。また、X線回折とEBSDによるアルミニウム、銅、マグネシウム、チタンの集合組織測定結果をシンポジウムで報告し、集合組織測定・表示法の標準化に関する情報を発信することが確定した。 3. 集合組織文献データベース検索システムはほぼ完成しているが、文献データの収集が進んでいないため、最終報告書の執筆を担当しない委員が中心となって、残りの研究期間で集中的に文献データを収集する。 4. 日本金属学会分科会「結晶方位と組織の制御」研究会との共催講演会を、今年度の第 2 回集合組織研究部会として、10 月 21 日、22 日の 2 日間、飛騨地域地場産業振興センター(高山市)で開催した。参加者数 41 名の盛況な講演会となった。講演数 22 件のうち、軽金属に関する講演は 14 件(アルミニウム 8 件、マグネシウム 5 件、計算シミュレー

			<p>ション1件)である。この公開講演会は次年度も開催する予定である。</p> <p>5. 平成22年度中に開催した研究部会は上記の共催講演会も含めて4回であり、主として個別研究活動報告を中心にして活動を行ってきた。</p>
5	<p>塑性加工によるマグネシウム合金新機能発現部会 (22年度末終了)</p>	<p>マグネシウム合金の持つポテンシャルを十分に発揮させるための塑性加工技術の確立</p>	<p>講演会等の研究成果および研究動向のトピックスとして以下が挙げられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい汎用性のある析出硬化型マグネシウム合金としてMg-Al-Ca系、Mg-Zn-Ca系合金が見出され、その時効硬化が規則型GPゾーンの析出によること、これらの規則化相は熱的にも安定で、熱間加工中にも析出し、再結晶粒の粗大化を抑制するピン止め効果も発現することが見出されている。その結果、加工まま材でも高い強度を示すようになる。規則型GPゾーンの同様な効果は、クリープ変形挙動にも大きな影響を及ぼす。 2. マグネシウムの単結晶材を用いた双晶発生挙動とせん断因子との関連が明確になりつつあり、双晶の交差も起こりうるということが明らかにされている。また引張双晶の幾何学的な原子配置をベクトルおよび回転角で表現することに成功しており、今後シミュレーション等で双晶変形の発現機構を明らかにできる可能性が示唆されている。 3. マグネシウム合金の疲労試験法に関するISO化を進めている。 4. 韓国POSCO社が双ロール鋳造による圧延材の板幅を来年1月には2mまで製造できるようにすると発表している。狙いは自動車ボディ材。また、来年度から韓国でも電解精錬によるマグネシウムの精錬をできるようにするとの情報もある。年間1万トンを計画。 5. 中国、韓国の動向として高速鉄道も含めた輸送機器への応用に関する研究開発が積極的に進められている。 6. 国内ではマグネシウム合金押出材および圧延材の新幹線構体への応用が検討されている。現在、産総研、日本マグネシウム協会が中心となり、JR各社、素材メーカー、加工メーカーが参画して研究会を立上げ、マグネシウム合金の適用における課題等について検討している。
6	<p>表面処理技術研究部会 (22年度末終了)</p>	<p>アルミニウム材料の表面微視的構造と処理性および塗装性・耐食性との相関を明らかにすること</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作製した素材に対してEPMA元素マッピングを行った。耐糸さび性が悪かったA1100P材にはFe、Siを含んだ金属間化合物が存在していることが推察された。 2. 糸さび試験後の腐食断面をEPMAにより分析した結果、Fe、Siが腐食生成物内に存在することが確認された。 3. リン酸クロメート処理材を用いてEPMA元素マッピングにより皮膜の均一性を評価した。ノンエッチング型前処理よりもエッチング型前処理のほうが皮膜の均一性がよい。合金間や添加元素の影響はそれほど大きくなかった。 4. A1100材と純Alの化成処理材についてESCAを用いて、皮膜の分析を行った。皮膜の成分に及ぼす材料の影響は認められず、同様の皮膜が生成していると推察された。 5. 生地材、未塗装の化成処理材について塩水噴霧試験を行った。耐糸さび性との相関はなかった。 6. 生地材、未塗装の化成処理材について分極測定を行った。A1100Pの化成処理材の孔食電位が低下する結果が得られた。 7. 材料表面局所の特性を評価する手法として、フロー型微小液滴セルによる分極測定を実施した。純Alは測定箇所依存性をほとんど示さないが、合金では測定箇所によるばらつき結果が得られた。 8. 傷をつけた塗装材を用いて、交流インピーダンス測定による腐食抵抗を評価中である。浸せきする試験溶液を変化させて、皮膜の自己修復性を腐食抵抗の経時変化から評価した。 9. 2年間の大気暴露試験を行った。促進試験と同様にA1100Pに腐食が多く観察された。 10. 成果報告書の取りまとめを行った。
7	<p>アルミニウム溶湯による耐火物浸食機構研究部会 (1年間延長 22年度末終了)</p>	<p>アルミニウム溶湯と耐火物との反応性、浸食機構の究明を行うこと</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. これまで十分な調査が行われていなかったAl-Mg溶湯とAl₂O₃系耐火物の濡れ性に関して、①Al-Mg溶湯に適した濡れ性評価手法の確立、②各種Al₂O₃系耐火物の濡れ性定量化を目標とし、共同研究を実施した。 2. 雰囲気条件や試験治具の適正化を図り、酸化消耗しやすいAl-Mg溶湯に適した試験条件を導出した。そして接触角測定により濡れ性を定量化し、耐火物組成の影響を明らかにした。 3. 得られた結果を考察しまとめ、研究部会報告書No.53「Al-Mg合金溶湯と硫酸バリウム添加耐火物の濡れ性および反応性」を発行した。また第120回春期大会(H23年5月)において成果報告することとし、計5件の講演発表準備を進めた。
8	<p>アルミニウム圧延生産技術研究部会 (22年度末終了)</p>	<p>アルミニウム板圧延の、特に板厚関連の品質不良について、技術レベルの向上を図る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今までまとめられたものがなかった板厚変動・中心値ずれ要因の事例集ができたことにより、軽圧各社の生産技術に携わるスタッフの良い教育資料を作り上げることができた。 2. 研究部会報告書として冊子にまとめた。

[4] 研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第5条第4号)

1. 研究・業績の表彰

それぞれ選考委員会において選考を行い、理事会での承認を得て、表彰は、(1)～(3)を平成22年5月開催の第118回春期大会にて、(6)～(12)を平成22年11月開催の第119回秋期大会にて行なった。(13)については、平成23年2月末までに表彰楯を各大学、高等専門学校へ送付し、卒業・修了など表彰に相応しい時機に表彰を託した。

(1) 第13回軽金属学会賞選考委員会

里 達雄会長が委員長となり、1名の候補者について審議の結果、当該候補者1名を選考した。

(受賞者)

関西大学 名誉教授 小松伸也 君

(2) 第12回軽金属学会功労賞選考委員会

里 達雄会長が委員長となり、推薦された3名の候補者について審議の結果、当該3名を選考し、うち1名を軽金属学会特別功労賞、2名を軽金属学会功労賞候補者として選考した。

(受賞者)

軽金属学会特別功労賞

(株)神戸製鋼所アルミ・鋼カンパニー技監 碓井栄喜 君

軽金属学会功労賞

昭和電工堺アルミ(株) 専務取締役 佃 市三 君

芝浦工業大学 准教授 村田 清 君

(3) 第8回軽金属功績賞選考委員会

里 達雄会長が委員長となり、推薦された4名の候補者の中から3名を選考した。

(受賞者)

関西大学 教授 池田 勝彦 君

長岡技術科学大学 教授 鎌土 重晴 君

産業技術総合研究所 主幹研究員 三輪 謙治 君

(4) 平成22年度軽金属論文賞推薦委員会

高山善匡委員長のもとで対象論文66編の内15編の論文を推薦した。

(5) 平成22年度軽金属論文新人賞推薦委員会

高山善匡委員長のもとで、対象者15名の中から6名を推薦した。

(6) 平成22年度軽金属論文賞選考委員会

推薦委員会により推薦された論文の中から吉田英雄委員長以下選考委員が3編を選考した。

(受賞論文)

- 1) 受賞論文名 「高湿度空気における中強度7000系アルミニウム合金の水素脆化特性」
(軽金属 第60巻1号(2010) P.19-25)

山口大学	大崎 修平 君
山口大学大学院生	前田 悦宏 君
山口大学学生(現 株式会社矢野特殊自動車)	森田 到 君
株式会社神戸製鋼所	中井 学 君
社団法人日本アルミニウム協会	藪田 均 君

- 2) 受賞論文名 「Combined Effect of Pre-Straining and Pre-Aging on Bake-Hardening Behavior of an Al-0.6mass%Mg-1.0mass%Si Alloy」
(Materials Transactions, Vol. 51, No.2 (2010) pp. 325-332)

横浜国立大学(院)、株式会社神戸製鋼所	増田 哲也 君
株式会社神戸製鋼所	高木 康夫 君
株式会社神戸製鋼所	櫻井 健夫 君
横浜国立大学	廣澤 涉一 君

- 3) 受賞論文名 「DC 鋳造における Al-Mn 系および Al-Mg 系アルミニウム合金の割れ感受性予測方法」
(軽金属 第59巻8号(2009) P.417-423)

株式会社神戸製鋼所	森下 誠 君
株式会社神戸製鋼所	阿部 光宏 君
株式会社神戸製鋼所	徳田 健二 君
早稲田大学	吉田 誠 君

(7) 平成22年度軽金属論文新人賞選考委員会

推薦委員会により推薦された論文の中から吉田英雄委員長以下選考委員が3編(3名)を選考した。

(受賞者)

- 1) 大野 卓哉 君 日本大学大学院生

論文名 「メカニカルリング法と放電プラズマ焼結法による高強度純チタンの作製とその特性」
(軽金属 第59巻12号(2009)P.659-665)

- 2) 竹田 博貴 君 古河スカイ株式会社

論文名 「Influence of Crystal Orientations on the Bendability of an Al-Mg-Si Alloy」
(Materials Transactions, Vol. 51, No. 4 (2010) pp. 614-619)

- 3) 中村 純也 君 富山大学大学院生
論文名 「過剰に Mg を含む Al-Mg₂Si 合金の時効析出過程に対する Cu または Ag 添加の影響」
(軽金属 第 60 巻 4 号(2010)P. 164-169)

(8)第 45 回小山田記念賞選考委員会

新家光雄委員長のもと、応募技術 2 件について検討の結果、当該技術 1 件が選考された。

(受賞技術)

「新型ブリュースに搭載されたアルミニウム製パワー半導体用冷却器の開発」

(受賞者)

株式会社豊田自動織機 森 昌吾 君
株式会社豊田自動織機 藤 敬司 君
昭和電工株式会社 柳本 茂 君
昭和電工株式会社 古川 裕一 君

(9)第 33 回高橋記念賞選考委員会

新家光雄委員長のもと、各支部からの推薦 6 件について選考委員による書面審査の結果、4 名を選考した。

(受賞者)

住友軽金属工業株式会社 東 康則 君
日産自動車株式会社 大類 将彦 君
宇部興産ホイール株式会社 西 守 君
YKK AP 株式会社 野寺 哲治 君

(10)第 28 回軽金属奨励賞選考委員会

加藤数良委員長のもと、応募 6 名の推薦候補者の中から 3 名を選考した。

(受賞者)

古河スカイ株式会社 一谷 幸司 君
東北大学 仲井 正昭 君
佐賀大学 森田 繁樹 君

(11)第 9 回軽金属躍進賞選考委員会

南埜宜俊委員長のもと、5 名の候補者について検討の結果、3 名を選考した。

(受賞者)

古河スカイ株式会社 新倉 昭男 君
広島大学 松木 一弘 君
住友軽金属工業株式会社 箕田 正 君

(12)第 2 回軽金属女性未来賞

小野幸子委員長のもと、3 名の候補者について検討の結果、1 名を選考した。

(受賞者)

住友軽金属工業株式会社 上田 薫 君

(13)平成 22 年度軽金属希望の星賞

各支部からの一次推薦 29 名について、総務委員会による二次選考の結果、29 名を選考した。

(受賞者)

所属	氏名	所属	氏名
東北大学大学院	高橋 弘枝	名古屋大学大学院	木村 仁巳
千葉工業大学大学院	西井 彰宏	名古屋大学大学院	柴崎 翔平
宇都宮大学大学院	伏木 幸司	大阪大学大学院	福田 博之
千葉大学大学院	稲澤 利春	大阪工業大学大学院	中村 亮司
茨城大学大学院	渡邊 雅貴	関西大学大学院	岸本 諒太
芝浦工業大学大学院	北川 貴稔	大阪大学大学院	橋本 旭令
東京工業大学大学院	大石 健太郎	大阪府立大学大学院	住本 健一
群馬大学大学院	高橋 俊也	大阪大学基礎工学研究科	北野 雄也
工学院大学大学院	佐藤 芳輝	京都大学大学院	上田 貴康
長岡技術科学大学大学院	黒田 瞬	広島大学大学院	柏木 崇宏
日本大学大学院	青木 翔	愛媛大学大学院	武市 知大
日本大学大学院	大野 卓哉	九州大学大学院	本田 秀爾
長岡技術科学大学	内田 フランソワ オリヴィエ	熊本大学大学院	山下 朋広
富山大学大学院	水谷 学	九州大学大学院	小川 雅央
豊橋技術科学大学 大学院	伊藤 真也		

(14)優秀ポスター賞

本賞は春秋大会で行われるポスターセッションで発表した優秀者に贈られる賞で、今年度は以下 6 名を表彰した。

1)第 118 回春期大会 優秀ポスター発表賞受賞者

①Al-Si 系ダイカスト合金の圧縮リラクセーション特性とマイクロ組織変化

横浜国立大学大学院工学府システム統合工学専攻 川窪 裕己 君

②Ti-Ca 合金表面上へのハイドロキシアパタイトの形成条件

- 関西大学大学院理工学研究科 石元 裕貴 君
- ③マグネシウム合金上への水酸アパタイト皮膜の作製と擬似体液中での耐食性評価
名古屋大学大学院工学研究科 鈴木 久雄 君
- ④純アルミニウム中の水素検出に及ぼすイオンプレーティング処理の効果
茨城大学 岩橋 秀樹 君
- ⑤アルカリ性電解液を用いた結晶性アルミニウムアノード酸化皮膜の誘電特性
工学院大学大学院 佐藤 芳輝
- ⑥塩化物含有環境におけるマグネシウム合金の環境脆化挙動
関西大学大学院理工学研究科 岸本 諒太 君
- 2)第119回秋期大会 優秀ポスター発表賞受賞者
- ①高圧すべり加工(HPS)法によるAZ61合金の結晶粒微細化
九州大学大学院 本田秀爾 君
- ②アルミニウムにおける環境水素の挙動に及ぼす第二相の影響
茨城大学大学院 渡壁尚仁 君
- ③メカニカルアロイング法と放電プラズマ焼結法で作製したTi-HAp複合材料の特性
日本大学大学院 大野卓哉 君
- ④X線CT観察によるポーラスアルミニウムの圧縮過程調査
群馬大学大学院 高橋俊也 君
- ⑤硬磁性を有するマグネシウム基複合材料の創製とその特性
日本大学大学院 青木 翔 君
- ⑥高温高速押し出し加工によるMg-Zn-Ca-Mn合金の高強度化
長岡技術科学大学大学院 黒田 瞬 君

2. 人材育成

各支部において、講演会・ポスター発表など、若手人材育成に関わる事業を実施した。

3. 若手の会、女性会員の会

(1)若手の会

第18回会合：第118回春期大会第2日目(5月22日)に実施。参加者36名(企業14名、大学教員7名、学生15名)。4名よりの講演に基づき質疑。

第19回会合：第119回秋期大会第2日目(11月14日)に実施。参加者31名(企業9名、大学教員7名、学生14名、公的研究機関1名)。託児所設置案について討議。

(2)女性会員の会

第8回会合：118回春期大会第2日目に実施。参加者10名(企業7名、大学教員2名、学生1名)

「在宅勤務」をテーマに、世話人からの話題提供に基づき討議。

第9回会合：第119回秋期大会第2日目に実施。(若手の会との合同会合)参加者は女性会員13名(企業7名、大学教員3名、学生3名)、男性5名(企業1名、大学教員2名、学生2名)

講演大会期間中の託児所設置案について討議。大会運営会議、総務委員会を経て理事会に提案し、平成23年春期大会から試行することとなった。

[5] 関連学術団体との連絡及び協力(定款第5条第5号)

1. 産学官の連携

参加会を年2回開催し、産学官の密接な連携のもとに、軽金属の将来に対する意見交換を行い、ユーザー側からの助言を得た。

2. 日本アルミニウム協会

日本アルミニウム協会(中長期委員会)のロードマップに基づいた研究開発の推進の一環として、当学会の研究委員会に下記小委員会を設置し、日本アルミニウム協会と共同で実施した。

課題1「Al-Fe 第2相の超微細分散方法の研究と諸特性の評価」

内容：半凝固加工／巨大ひずみ加工 Al-Fe 第2相の微細分散について研究する。

課題2「純アルミ系高導電材料の高圧巨大ひずみ法による高強度化の研究」

内容：Al-Fe系材料への巨大ひずみの影響を調査する。

3. 自動車メーカー、アルミニウム軽圧メーカー、大学・研究機関との定期的な情報交換

「自動車用アルミ合金の低コスト化技術に関する交流会」の発足と実施

第1回：平成22年6月4日(金)

第2回：平成22年10月4日(月)

第3回：平成22年3月8日(火)

4. 他学術団体

日本学術会議、材料工学連絡委員会、日本工学会等と連携を保つとともに、日本金属学会、日本鋳造工学会、日本鉄鋼協会、日本塑性加工学会、日本材料学会など、他学協会との研究発表、シンポジウムの共催、協賛、後援などの協力を積極的に行った。

[6] 国際的な研究協力の推進(定款第5条第6号)

1. 第12回アルミニウム合金国際会議(ICAA12)

ICAA12は、当学会主催で9月5日～9日の5日間にわたり、横浜市のパシフィコ横浜にて開催し、29か国から498名の参加を得て412件の発表が行われ盛況裡に終了した。

2. 国際交流

(1) AFLM(Asian Forum of Light Metals) 2010

10月26日～29日中国の桂林で開催されたAFLM 2010の招待講演として、わが国からアルミニウム3件、マグネシウム3件、チタン2件の報告を行なった。

(2) ICP(International Communication Program)

アジア地域の交流を目指して当学会が提唱して発足した活動で、現在、日本、韓国、台湾、中国、オーストラリアの5地域が参加している。AFLM 2010会期中に開催されたICPミーティングにて、AFLMを2012年に日本で開催することが決定した。

[7] その他目的を達成するために必要な事業(定款第5条第7号)

1. 創立60周年記念事業

60周年記念事業委員会のもと、記念事業を立案した。

- ① 60周年記念表彰：秋期講演大会時に実施する。
- ② 支部記念行事：各支部において計画し、実施する。
- ③ 「軽金属」誌特集号：創立60周年記念特集号を刊行する。

2. ホームページの改訂

広報委員会の中にホームページ小委員会を設けて、ホームページの大幅改訂案を検討した。平成23年3月にテストページの確認を行い、平成23年4月第2週以降に一般公開を行なう。

3. 支部活動

(1) 北海道支部

1. 講演会(主催):平成22年度軽金属学会北海道支部講演会

① 北海道アルミニウム利用技術研究会 第1回アルミニウム技術講演会

日時:平成22年7月15日(木) 14:30～16:30

場所:苫小牧市テクノセンター会議室(北海道苫小牧市)

講演:「ガス分析装置(グラビマス)を用いたアルミニウム品質管理技術」

講師 (独)日本原子力研究開発機構 産学連携推進部産学連携コーディネーター
阿部哲也 氏

② 北海道アルミニウム利用技術研究会第2回アルミニウム技術講演会

日時:平成22年10月28日(木) 14:30～17:10

場所:苫小牧市テクノセンター会議室(北海道苫小牧市)

講演題目:「Kモールド法によるアルミニウム合金溶湯の清浄度評価とその活用」

講師 日軽エムシーアルミ(株) 技術顧問 北岡山治 氏

③ アルミニウム技術交流会アルミニウム情報交流会

日時:平成22年11月26日(金) 15:00～17:30

場所:ノーステック財団大会議室(一階) 札幌市北区北21条西12丁目 コラボほっかいどう

I. 講演

1. 電池滓(でんちさい)を用いたアルミニウム用 Mg 濃度調整フラックスの開発

北海道工業大学 大学院(学)米内山 元 道総研 高橋英徳

2. JST 拠点整備事業 導入機器の紹介

道総研工業試験場材料技術部 片山直樹

3. (財)道央産業技術振興機構および活動紹介

(財)道央産業技術振興機構 原田良一

4. ガス分析装置「グラビマス」を用いたアルミニウム铸件評価

道総研工業試験場材料技術部 板橋 孝至 高橋英徳

5. アルミニウムの腐食と表面処理に関する研究

北海道大学大学院工学院表界面微細構造研究室 准教授 坂入正敏、(学)大谷恭平
(学)村田拓哉、(学)藤田諒太、(学)藤田哲

II. 総評 ノーステック財団クラスター事業部 新プロジェクト室長 山中 芳朗

III. 総合討論会

④ 北海道アルミニウム利用技術研究会第3回アルミニウム技術講演会

日時:平成23年1月25日(火) 14:30～16:30

場所:苫小牧市テクノセンター会議室(北海道苫小牧市)

講演題目:「アルミニウム用フラックスの利用技術」

講師 日本軽金属(株) メタル合金事業部 倉増幸雄 氏

2. 支部役員会

日時:平成23年2月14日

場所:北海道大学料科学部門 マテリアル設計分野会議室 MC811 室

議題:軽金属学会誌北海道支部特集号紹介記事編集に関する打ち合わせ

(2)東北支部

1. 第1回支部役員会

日時:平成22年7月20日(火) 13:30~16:30

場所:東北大学大学院工学研究科 マテリアル・開発系 A棟6階ファカルティールーム(A616)

2. 第1回支部講演会(共催)

第22回溶接・接合研究会

日時:平成22年7月23日(金)13:00~17:15

場所:八戸グランドホテル

主催:溶接学会東北支部 共催:軽金属学会東北支部、日本溶射協会関東支部

3. 第2回支部講演会(共催)

東北大学金属材料研究所共同研究ワークショップ日本バイオマテリアル学会東北地域講演会

「金属系バイオマテリアルの力学的および生物学的生体機能性の付与—骨機能再建・再生マテリアルの創製に向けて—」

日時:平成22年8月30日~31日

場所:東北大学金属材料研究所講堂

主催:東北大学金属材料研究所共同研究、日本バイオマテリアル学会東北地域

共催:日本学術振興会第176委員会、東北大学グローバルCOEプログラム、軽金属学会東北支部

4. 第3回支部講演会「長周期型マグネシウム合金の研究最前線」

日時:平成22年10月23日(土)10:00~12:00

場所:日本大学工学部 70号館7012教室

5. 第2回支部役員会

日時:平成23年2月18日(金)13:00~14:30

場所:東北大学大学院工学研究科 マテリアル・開発系A棟6階 ファカルティールーム

(3)関東支部

1. 第1回運営委員会

日時:平成22年5月14日(金)16:00~17:30

場所:工学院大学 新宿キャンパス 19階 1913室(化学系セミナー室)

2. 第2回運営委員会

日時:平成22年8月9日(金)10:00~11:00

場所:工学院大学 新宿キャンパス 19階 1913室(化学系セミナー室)

3. 若手研究者ポスター発表会

日時:平成22年8月9日(金)12:00~14:00

場所:工学院大学 新宿キャンパス 高層棟3階 アーバンテックホール前スペース

発表件数:40件、参加者:120名

4. 平成22年度 支部総会・講演会・懇親会

日時:平成22年8月9日(金)14:30~19:30

場所:工学院大学 新宿キャンパス 高層棟3階 アーバンテックホール

講演題目:

「材料から見た環境問題の過去と未来—アルミニウムのリサイクルは必要か?」

講師 中部大学 武田 邦彦 氏

5. 第119回 秋期大会講演会(於 長岡技術科学大学)の実行援助

日時:平成22年11月13日(土)、14(日)

場所:長岡技術科学大学

6. 第3回運営委員会

日時:平成23年1月23日(金)15:00~17:00

場所:軽金属協会 第2会議室

(4)北陸支部

1. 支部幹事会(定例2回)

第1回

日時:平成22年4月21日(水) 13:00~15:00

場所:富山大学工学部 大会議室

第2回

日時:平成22年9月16日(木) 13:30~15:00

場所:富山大学工学部 大会議室。

2. 講演会(2回)

①(社)軽金属学会平成22年度春期講演会

開催日:平成22年6月24日(木)

場 所:富山大学工学部

招待講演1「マグネシウム鍛造の技術動向と製品開発」日本大学 講師 関口 常久 氏

招待講演2「マグネシウム・ダイカスト部品による自動車軽量化動向耐熱マグネ合金を中心に」

(株)アーレスティ 技術部 技術主幹 才川 清二 氏

企業発表1「軽合金製鍛造ホイール基礎知識－軽合金製鍛造ホイールのメリット&特性－」

(株)TAN-EI-SYA 品質保証部 品質管理課 主任 荒木 順治 氏

企業発表2「サインディスプレイ商品について」

オリジン工業(株)改革管理グループ グループ長 中越 貞志 氏

②(社)軽金属学会平成22年度秋期講演会

開催日:平成22年11月19日(金)

場所:高岡 JA 会館

招待講演1「JR東日本の高速化と「はやぶさ」号用量産先行車の概要について」

東日本旅客鉄道(株) 鉄道事業本部 運輸車両部 車両技術センター 課長
新幹線車両グループリーダー 遠藤 知幸 様 氏

招待講演2「新潟トランスの LRV(ライトレールビークル)」

新潟トランス株式会社 交通システム事業部 プロジェクト部
車両グループ マネージャー 山田 誠 氏

企業発表1「砂型鋳物における鋳造シミュレーションの活用について」

三協立山アルミ(株) 技術開発部 素材開発課 橋本 清春 氏

企業発表2「わが社における環境対応技術の紹介」

宮越工芸(株) 出崎 真規 氏

3. 支部幹事研修会(1回)

日時:平成22年10月15日(金)

見学場所:(株)高松メッキ 富山大学工学部、富山大学共通機器分析センター

幹事懇親会:富山観光ホテル

4. 支部若手育成支援事業(1件)

(1) 富山大学工学部材料機能工学科 1年生 ものづくりコンテスト

日時:平成22年5月8(土)~9(日)日

場所:国立富山青少年自然の家

参加学生:51名

5. 協賛事業(5件)

① 湯川記念講演会(主催:日本鉄鋼協会北陸信越支部, 共催:日本金属学会北陸信越支部)

・開催日:平成22年7月12日(月)於:富山第一ホテル

1) 講演題目:「最近のマグネシウム合金開発研究の動向」

講師:長岡技術科学大学 名誉教授 小島 陽 氏

2) 講演題目:「マグネシウムによる車体の軽量化」

講師:ヤマハ発動機株式会社 技術本部 生産技術統括部 材料技術部 主事 鈴木貴晴 氏

② 第5回材料科学国際シンポジウム(JCNCS2010)(主催:富山大学材料機能工学科)

開催日:平成22年9月12日~15日

場所:富山第一ホテル

主な招待講演(招待講演21件、一般講演34件)

A REVIEW OF OUR RECENT INVESTIGATIONS ON ZnO-BASED UV LEDs

Prof. Makoto Shiojiri, Professor Emeritus of Kyoto Instit. Tech., Japan

CURRENT DEVELOPMENT OF NANOTECHNOLOGY AND SUPERCONDUCTIVITY IN SHANGHAI UNIVERSITY:

A BRIEF REVIEW, *Prof. Peifen Weng, Shanghai University, China*

INTRODUCTION OF SHANDONG UNIVERSITY AND RECENT ACTIVITY OF RESEARCH

Prof. Guanghui Min, Shandong University, China

HIGH THERMAL STABILITY OF SOFT MAGNETIC NANO-CRYSTALLINE METALLIC GLASSES

Prof. G. J. Shiflet, University of Virginia, USA

INVESTIGATION OF THE PRECIPITATES IN Al ALLOY (7475)

Prof. A.F. Gaber Mahmoud, Assiut University, Egypt

MAPPING OF DOPANTS IN SILICON BY INJECTION OF ELECTRONS

Prof. Ludek Frank, ISI Brno, ASCR, Czech Republic

STRUCTURE AND PROPERTIES OF BaCeO₃- δ - BASED HIGH TEMPERATURE PROTONIC CONDUCTORS

Prof. Kazimierz Przybylski, AGH University of Science and Technology, Poland

ALUMINIUM ALLOY BASE NANOCOMPOSITES WITH CERAMIC OR AMORPHOUS HARDENING PHASES

Prof. J. M. Dutkiewicz, Polish Academy of Sciences, Poland

PRECIPITATES IN Al-Mg-Si ALLOYS RELATION TO ZINTEL-PHASES AND POLAR INTERMETALLICS

Dr. S.J. Andersen, SINTEF, Norway

③ 本多光太郎記念特別講演会(主催:日本金属学会北陸信越支部, 共催:日本鉄鋼協会北陸信越支部)

・開催日:平成22年12月4日(土)於:富山大学工学部

講演題目:「6000番系アルミニウム合金の時効析出」

講師:富山大学大学院理工学研究部 教授 池野 進 氏

④ 第37回富山大学材料研究会

(主催:富山大学材料機能工学科, 共催:日本鉄鋼協会北陸信越支部, 日本金属学会北陸信越支部)

開催日:平成22年10月8日(金)於:富山大学 工学部

基調講演1「セラミックス薄膜の高温における構造変化」

- 富山大学理工学研究部 教授 佐伯 淳 氏
 基調講演 2「Dy 拡散による NdFeB 焼結磁石の省 Dy 高性能化」
 日立金属株式会社日立金属(株) NEOMAX カンパニー 技師長 松浦 裕 氏
 講演題目:「鋼塊の内部性状と凝固シミュレーションについて」
 大平洋製鋼株式会社 富山製造所 ○越野 正和 氏、池生 剛 氏、串田 裕紀 氏
 松岡 聡 氏、山本 有一 氏、瀬尾 省逸 氏
 講演題目:「廃超硬工具からのタングステン等の回収」
 株式会社アライドマテリアル 笹谷 和男 氏
 講演題目:「表面処理被膜のドロップレット非破壊検出方法の検討」
 日本高周波鋼業(株) 富山製造所 技術部 商品開発室
 菓子 貴晴 氏
 講演題目:「ガスクラスターイオンビームによるダイヤモンドコーティング工具の平滑化」
 株式会社 不二越 ○佐藤 嗣紀 氏、関口 徹 氏、富山大学 森田 昇 氏
 兵庫県立大学 豊田 紀章 氏、山田 公 氏
 講演題目:「超硬合金の疲労破壊特性」 YKK 株式会社 ○見角裕子
 ⑤ 第38回富山大学材料研究会
 (主催:富山大学材料機能工学科, 共催:日本鉄鋼協会北陸信越支部, 日本金属学会北陸信越支部)
 開催日:平成 23 年 2 月予定 於:富山大学 工学部 106 講義室、大会議室
 基調講演 兼 最終講義 「研究生生活43年を振り返って」
 富山大学理工学研究部材料機能工学科 教授 池野 進
 講演題目:「冷間金型用材料の靱性について」
 株式会社 不二越 ○中谷 理恵、吉田 直純、越 正夫
 講演題目:「ハイトン鋼板成形用表面処理被膜マカオンコート・KS-G」
 日本高周波鋼業(株)技術部商品開発室 菓子 貴晴
 講演題目:「モリブデン材料の強度と延性に及ぼす炭素添加の効果」
 株式会社アライドマテリアル 材料研究部 角倉 孝典
 講演題目:「スーパー2 相ステンレス鋼の鍛鋼品開発・ポンプ用バレル型ケーシングの作製」
 大平洋製鋼株式会社 富山製造所 技術部技術開発課技術開発係 平林 純一
 講演題目:「マグネシウム合金の鍛造用小径ピレットの開発」
 三協マテリアル(株) マグネシウム統括部用途開発課 清水 和紀

(5) 東海支部

1. 会議関係

(1) 支部総会(1回)

日時:平成 22 年 4 月 16 日(金)13:00~13:20

場所:愛知県産業労働センター 1201号室

(2) 支部評議員会(1回)

日時:平成 22 年 4 月 16 日(金)10:00~11:30

場所:愛知県産業労働センター 1209 号室

(3) 支部理事会(3回)

第1回支部理事会

日時:10 月 19 日(火)15:00~17:30

場所:住友軽金属 名古屋支店会議室

第2回支部理事会

日時:平成 22 年 12 月 16 日(木)10:30~12:40

場所:名古屋工業大学 交友会館

第3回支部理事会

日時:平成 23 年 3 月 15 日(火)15:45~17:30

場所:名古屋住友クラブ

2. 企画行事等

(1) 第1回講演会「国産旅客機MRJと東海道新幹線の軽量化と環境対応」

日時:平成22年4月16日(金) 13:40-17:00

場所:愛知県産業労働センター

講演題目:

1)航空宇宙産業の動向と航空機部品産業クラスターの形成

中部経済産業局 岡田 武

2)国産旅客機MRJへの挑戦と適用軽量化材料

三菱航空機(株) 八代充造

3)東海道新幹線の軽量化と環境優位性

東海旅客鉄道(株) 小峰輝男

参加:83名

(2) 若手研究者・技術者のための軽金属基礎講習会

日時:平成 22 年 10 月 1 日(金) 10:00~16:35
場所:愛知県産業労働センター 1101 会議室 参加:52 名
講義内容:

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1) 軽金属の溶解・鋳造 | 日本軽金属(株) 織田 和宏 |
| 2) 軽金属の塑性加工 | 名古屋大学 石川 孝司 |
| 3) 軽金属の熱処理 | 住友軽金属工業(株) 箕田 正 |
| 4) 軽金属の表面処理 | 三菱アルミニウム(株) 山口 恵太郎 |
| 5) 軽金属の破壊特性 | 豊橋技術科学大学 戸田 裕之 |

(3) 第2回講演会 「環境・エネルギー分野を支える軽金属」

日時:平成 22 年12月16日(木) 13:00~17:00
場所:名古屋工業大学 講堂 参加:76 名
講演題目:

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1)太陽光発電の現状と将来展望 | 岐阜大学 未来型太陽光発電システム研究センター 野々村修一 |
| 2)あいち臨空新エネルギー実証研究エリアで取組まれている実証研究について | 愛知県産業労働部新産業課 古澤誠 |
| 3)建築分野における環境・エネルギー問題への取り組み | (株)竹中工務店 遠山幸太郎 |
| 4)環境・エネルギー分野においてアルミニウム合金が果たすべき役割について考える | 東京工業大学 熊井真次 |

(4) 部会活動

「航空機材料部会」:部会長 名古屋大学 金武教授

官からは中部経済産業局等、産からは航空機の素材メーカー、機体メーカー、部品メーカー、学からは名大、大同大等が集まり、航空機用軽金属材料の課題を明らかにし、産官学の連携で問題解決を目的とする。本年度は共通する課題を整理し、4つのWG(切削加工、表面処理、素材製造、リサイクル)でさらに議論を深めていく方針が示された。

「プレス加工部会」:部会長 名古屋大学 石川教授

軽金属のプレス加工全般に関わる課題を明らかにし、軽金属材料をより使いやすくしていくための活動とする。平成 22 年 8 月 19 日、鉄鋼とアルミの共存をテーマに接合技術研究開発動向について講演会を開催し、45 名の参加を得た。

「軽進会」:

産官学の若手会員のネットワークを拡げて交流を活発にし、東海支部の活性化、発展に寄与することを目的とする。平成 23 年 5 月に名古屋大学で開催される第 120 回春期大会で、軽進会主催の企画内容を討議した。

(6) 関西支部

1. 支部理事会 1 回 (平成 23 年 1 月 7 日)
2. 拡大幹事会 1 回(平成 23 年1月 7 日 支部理事会と合同開催)
3. 軽金属希望の星賞受賞候補者推薦
一般枠 5 名、特別枠 1 名+1 名の合計 7 名を推薦
支部推薦者選考委員会 平成 23 年 1 月 7 日開催
4. 研究会等 4 回開催

4-1 研究会

- (1) 若手院生研究者サマースクール 「関西軽金属サマースクール」

日時:平成22年7月8日(木)14:00~18:30
場所:大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 学術交流会館
参加者数:学生・院生44名、会員12名 合計56名
講演:

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| ①「マグネシウム合金の高温変形および動的再結晶挙動における固溶元素の効果」 | 大阪府立大学 瀧川 順庸 |
| ②「トライボロジーの基礎と応用」 | 大阪府立産業技術総合研究所 道山 泰宏 |

- (2) 軽金属関西支部シンポジウム 「アルミニウムの新しい用途」

日時:平成22年9月2日(木)13:25~17:00
場所:京都大学 百周年時計台記念館 国際交流ホールⅢ
参加者数: 正会員 17 名、非会員 5 名、学生 43 名、講師 5 名 合計 70 名
講演:

- | | |
|------------------------|-------------------|
| ①「アルミニウムの用途展開について」 | 古河スカイ(株) 二宮 淳司 |
| ②「環境負荷低減に貢献するアルミニウム材料」 | 住友軽金属工業(株) 田中 宏樹 |
| ③「自動車用アルミニウム展伸材と適応技術」 | (株)神戸製鋼所 高木 康夫 |
| ④「原子力分野におけるアルミニウムの用途」 | 日軽金アクト(株) 園田 雅之 |
| ⑤「新しい電極用複合材料の開発」 | 東洋アルミニウム(株) 井上 英俊 |

(3) 若手研究者・院生による研究発表会

日時:平成23年1月7日(金)12:00-19:30

場所:関西大学100周年記念会館 ホール

参加者:正員25名、学生85名 合計110名

特別講演:「これからの社会におけるマテリアルとしてのアルミニウム

昭和電工アルミ販売(株) 佃 市三

研究発表:7件、ポスター発表:58件、高大連携セッション:1件、フィールドワーク報告発表:1件

4-2 出前講座(地域産業における軽金属需要喚起啓発ボランティアプログラム)

とよなかものづくりフォーラム「アルミニウム合金とその加工技術の基礎と応用」

日時:平成23年1月22日(土)13:30~17:00

場所:豊中商工会議所 大会議室

参加者:地元企業より19名、司会1名、講師3名 合計23名

講演:

①「アルミニウム合金の基礎」

兵庫県立大学 山本 厚之

②「アルミニウム合金の加工(基礎と応用)」

昭和電工堺アルミ(株) 山ノ井智明

(株)神戸製鋼所 小西 晴之

(7)中国四国支部

1. 支部講演大会の開催

日時:2010年7月10日(土)

場所:岡山理科大学 25号館5階22551, 22552, 22555 講義室(岡山市北区理大町1-1)

2. 研究会の開催

2-1 第1回研究会

日時:2010年8月27日(金) 12:55~16:30

場所:愛媛大学工学部本館3階大会議室(松山市文京町3番)

講演:

①粒界すべりの粒界性格依存性と拡散メカニズム

東京大学 幾原雄一

②双結晶実験による結晶粒界すべり機構の検討

横浜国立大学 福富洋志

③粒界すべり機構と関連現象 -超塑性・焼結-

東京工業大学 若井史博

2-2 第2回研究会

日時:2010年11月19日(金) 13:00~16:45

場所:広島大学 工学部 113 講義室(東広島市鏡山1-4-1)

講演:

①希少金属を使用しないTi-Fe-Al合金の開発

岡山大学 竹元嘉利

②浮揚溶解Ti合金の凝固欠陥検出と高強度β型Ti合金の開発

広島大学 松木一弘

③TiNi系合金のマルテンサイト変態と最近のいくつかの問題

島根大学 大庭卓也

④弾性異常を有する合金の理想強度化

福岡大学 武末尚久

2-3 若手フォーラム

日時:2010年12月17日(金) 13:00~16:30

場所:広島県情報プラザ 視聴覚研修室(広島市中区千田町3丁目7-47)

講演(11件):

①アルミナ短繊維強化アルミニウム基複合材料の製造プロセスの最適化

広島大学 播本武嗣ら

②Ti-Fe-Al合金の組織と硬さにおよぼすFe, Alの影響

岡山大学 越智昌宏ら

③薄板金属材料の弾塑性変形挙動

近畿大学 赤木宏行ら

④カーボンナノチューブ添加チタン合金の内部組織観察

岡山理科大学 柏 泰彰ら

その他7件

3. 支部役員会

日時:平成22年7月10日(土)

場所:岡山理科大学(岡山市北区理大町1-1)

4. 支部各賞授与

4-1 支部優秀講演賞 15件

4-2 支部研究・開発奨励賞 7件

4-3 支部奨励賞

推薦依頼状を中国四国支部内で軽金属学会会員の存在する大学および高専に送付。各校から1名を推選して頂く。

(8)九州支部

1. 日本金属学会九州支部・日本鉄鋼協会九州支部・軽金属学会九州支部 共催

平成22年度合同学術講演大会

日時:平成22年6月5日(土)

場所:熊本大学 工学部

2. 第83回支部役員会

日時:平成22年7月2日(金) 12:00~13:20

場所:(株)神戸製鋼所 長府製造所 本館2階 特別会議室

3. 第83回例会

日時:平成22年7月2日(金) 13:30~16:00

場所:(株)神戸製鋼所 長府製造所 厚生棟1階 研修室

講演:

「自動車の軽量化とアルミ化動向」

日産自動車株式会社 テクニカルセンター

板倉浩二

「電磁成形技術の自動車部材への応用」

(株)神戸製鋼所 長府製造所 アルミ押出研究室

橋本成一

特別研究発表:

「純Ti単結晶における室温クリープ変形挙動の結晶方位依存性」

熊本大学大学院自然科学研究科 修士課程1年

大畑賀央

「巨大ひずみ加工したAl-Mg-Si系合金の時効挙動」

九州大学大学院工学府 修士課程2年

赤間大地

「β型TiおよびZr合金に生成するω相の3D解析」

九州大学大学院総合理工学府 修士課程2年

河合智也

「炭・窒化複合環境下におけるチタン材料の表面改質」

九州大学大学院総合理工学府 修士課程1年

河野友香

4. 第84回支部役員会

日時:平成23年2月7日(月) 11:30~13:00

場所:熊本大学 工学部研究棟I マテリアル会議室

5. 第84回例会

日時:平成23年2月7日(月) 13:30~17:00

場所:熊本大学 共用棟黒髪I 情報電気電子講義室

講演:

「Interrogation of Texture Weakening Mechanisms of Hot-Rolled Mg-RE Alloys」

熊本大学 客員研究員

Jason Hadorn

「AZ系Mg合金の高温多軸鍛造による組織と機械的性質の比較」

電気通信大学 准教授

三浦博己

「表層ナノ結晶を有するAZ31合金の組織と機械的性質」

熊本大学 助教

北原弘基

「Mgの複合化と傾斜機能材料化」

名古屋工業大学 教授

渡辺義見

「マグネシウム合金における押出集合組織形成機構の数値解析」

熊本大学 特任助教

眞山 剛

II. 処務の概況

[1] 役員等に関する事項

1. 役員

職名	氏名	常勤・非常勤	就任年月日 (最初の就任の時)	重任年月日 (現在の任期の開始時)	報酬	担当	現職名
会長	里 達雄	非常勤	平成 19 年 5 月 11 日	平成 21 年 5 月 22 日	なし	組織	東京工業大学教授
副会長	金武直幸	同上	平成 19 年 5 月 11 日	平成 21 年 5 月 22 日	同上	総合計画	名古屋大学教授
副会長	吉田英雄	同上	平成 19 年 5 月 11 日	平成 21 年 5 月 22 日	同上	財務	住友軽金属工業(株) 常務研究員
理事	池田勝彦	同上	平成 19 年 5 月 11 日	平成 21 年 5 月 22 日	同上	企画	関西大学教授
同上	小野幸子	同上	平成 21 年 5 月 22 日		同上	国際交流	工学院大学教授
同上	加藤数良	同上	平成 19 年 5 月 11 日		同上	大会	日本大学教授
同上	桑原利彦	同上	平成 21 年 5 月 22 日		同上	編集	東京農工大学教授
同上	世利修美	同上	平成 21 年 5 月 22 日		同上	編集	室蘭工業大学教授
同上	仲井清眞	同上	平成 21 年 5 月 22 日		同上	支部	愛媛大学教授
同上	新家光雄	同上	平成 19 年 5 月 11 日	平成 21 年 5 月 22 日	同上	支部	東北大学教授
同上	堀田善治	同上	平成 19 年 5 月 11 日	平成 21 年 5 月 22 日	同上	研究	九州大学教授
同上	南埜宜俊	同上	平成 19 年 5 月 11 日	平成 21 年 5 月 22 日	同上	広報	大阪大学教授
同上	三輪謙治	同上	平成 21 年 5 月 22 日		同上	広報	産業技術総合研究所 主幹研究員
同上	本保元次郎	同上	平成 21 年 5 月 22 日		同上	総務	千葉工業大学教授
同上	相浦 直	同上	平成 21 年 5 月 22 日		同上	参与会	㈱神戸製鋼所担当部長
同上	浅見重則	同上	平成 13 年 4 月 1 日	平成 21 年 5 月 22 日	同上	総務	古河スカイ(株)技術顧問
同上	岡本一郎	同上	平成 19 年 5 月 11 日	平成 21 年 5 月 22 日	同上	大会	日本軽金属(株) 取締役常務執行役員
同上	谷川久男	同上	平成 21 年 5 月 22 日		同上	企画	三菱アルミニウム(株)監査役
同上	沖 善成	同上	平成 13 年 4 月 1 日	平成 21 年 5 月 22 日	同上	広報	三協立山アルミ(株)顧問
同上	柳本茂	同上	平成 19 年 5 月 11 日	平成 21 年 5 月 22 日	同上	企画	昭和電工(株)技術顧問
監事	池野 進	同上	平成 21 年 5 月 22 日		同上	財産の状況・理事の業務状況を監査	富山大学教授
同上	福岡 潔	同上	平成 17 年 5 月 14 日	平成 21 年 5 月 22 日	同上	同上	ハイドロアルミニウム・ジャパン(株)技術顧問

[2] 職員に関する事項

職名	氏名	常勤・非常勤	採用年月日	担当事務	備考
事務局長	大園 智哉	常勤	平成 17 年 4 月 1 日	全般	
職員	前田その美	常勤	平成 8 年 4 月 1 日	庶務	
職員	木村 明子	常勤	平成 8 年 4 月 1 日	編集	
職員	高野 正明	非常勤	平成 16 年 4 月 1 日	経理	

(2)総合計画委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第6回	平成22年4月27日	1. 新法人の新定款(案)について 2. 創立60周年記念事業について	説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。
第7回	平成22年6月15日	1. 創立60周年記念事業について 2. 新法人の新定款(案)について	提案内容を理事会に諮ることとした。 説明を受け、確認した。
第8回	平成22年9月14日	1. 一般社団法人軽金属学会定款(案)および新法人移行スケジュールについて 2. 軽金属学会の『強み』と『弱み』について	説明を受け、確認した。 アンケート回答内容を再整理することとした。
第9回	平成23年1月28日	1. 新法人への移行準備状況について 2. 軽金属学会の『強み』と『弱み』について	12月中の申請に向けて準備を進めることを理事会に諮ることとした。 説明を受け、確認した。
第10回	平成23年2月22日	1. 60周年記念行事計画について 2. 軽金属学会の『強み』と『弱み』について	継続して検討し、3月の理事会に諮ることとした。 軽金属学会の今後の課題として整理することとした。
第11回	平成23年3月28日	1. 平成23年度収支予算書について 2. 60周年記念行事計画について 3. 軽金属学会の今後の検討課題について	説明を受け、承認した。 事業規模縮小の方向での見直し理事会に諮ることとした。 具体案を検討した。さらに継続検討することとした。

(3)総務委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第236回	平成22年6月7日	1. 新法人移行について 2. 規程について ①高橋記念賞規定改定(案)、②「軽金属」投稿規定(案) 3. 軽金属学会の『強み』と『弱み』について 4. 第119回秋期大会懇親会のアルミ缶ビール代寄付のお願い	説明を受け、確認した。 説明を受け、検討を加えた結果を理事会に諮ることとした。 各委員からの意見を次回委員会で集約することとした。 アルミ缶延6社および三協立山アルミより寄付をいただくことについて了解された。
第237回	平成22年8月26日	1. 新法人移行について(定款案) 2. 経理規程(新・新会計基準対応)(案)について 3. 平成23・24年度評議員選出スケジュール(案) 4. HP案原稿(案)について 5. 軽金属の『強み』と『弱み』について 6. 60周年記念事業について	理事会に諮ることとした。 理事会に諮ることとした。 説明を受け、確認した。 説明を受け、承認した。 総合計画委員会に報告することとした。 説明を受け、確認した。
第238回	平成22年10月12日	1. 平成23・24年度評議員候補の確認 2. 新法人移行について 3. 規程類改定案について ①軽金属学会功労賞規程及び細則、②軽金属功績賞規程及び細則、③軽金属論文賞規程及び軽金属論文新人賞規程、④旅費交通費規程、⑤謝礼・謝金等規程、⑥退職手当金規程、⑦名誉会員・永年会員に関する規程 4. 60周年記念事業について 5. 平成22年度上期中間事業報告(案)について	説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、検討を加えた結果を理事会に諮ることとした。 会場案を承認、表彰案はさらに検討を加えることとした。 説明を受け、承認した。
第239回	平成23年1月19日	1. 軽金属希望の星賞二次選考について 2. 評議員選挙投票結果の集計と整理 3. 新法人移行について 4. 規程類改訂案について ①会員に関する規程(案)、②会費規程(案) 5. 60周年記念事業について	二次選考を行い、29名の候補者を理事会に諮ることとした。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、検討を加えた結果を理事会に諮ることとした。 記念式典部会計計画(案)についての修正案を委員長がまとめ、再度各委員の意見を集約することとした。

第240回	平成23年3月7日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 名誉会員の推薦に関して 2. 永年会員候補者について 3. 新法人移行について 4. 規程類改定案について <ol style="list-style-type: none"> ①大会規程変更案、②会員に関する規程案、③一般社団法人移行に伴う経過措置に関する規程案、④軽金属論文賞規程改定案及び軽金属論文新人賞規程改定案、⑤軽金属希望の星賞規程改定案及び軽金属希望の星賞選考細則改定案、⑥軽金属功績賞選考委員会運営細則 5. 60周年記念事業について 6. 次期委員会への引継ぎ事項について 	<p>理事会に諮ることとした。 理事会に諮ることとした。 説明を受け、確認した。 説明を受け、検討を加えた結果、④軽金属論文賞規程改定案及び軽金属論文新人賞規程改定案については結論が出ず、理事会の意見を聞くこととし、その他については理事会に諮ることとした。</p> <p>記念式典部会計画(案)を修正のうえ、理事会に諮ることとした。 委員長が書面にし次期委員会へ引継ぐこととした。</p>
-------	-----------	---	--

(4) 企画委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第199回	平成22年6月2日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第86回シンポジウム「軽金属の特殊加工」の開催結果報告 2. 第30回軽金属セミナー「アルミニウム合金状態図と組織」(第7回) 3. 軽金属基礎技術講座 準備状況報告 4. その他開催事業について <ol style="list-style-type: none"> ①第31回軽金属セミナー「アルミニウム合金の時効析出」(第4回) ②「状態図と組織セミナーⅡ」 ③新規シンポジウムについて 	<p>説明を受け、確認した。</p> <p>説明を受け、確認した。今回で一旦終了するため、ビデオに記録し保存することとした。</p> <p>説明を受け、確認した。 次回委員会に案を提示する。 東海地区での開催とし、世話人を決定した。 講師を選定し、平成23年度中にテキスト原稿を作成、平成24年度開始を目指すこととした。 担当者を決定し、次回委員会にたたき台を提出することとした。</p>
第200回	平成22年8月24日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第30回軽金属セミナー「アルミニウム合金状態図と組織」(第7回)の開催結果報告 2. 軽金属基礎技術講座 準備状況報告 3. 第31回軽金属セミナー「アルミニウム合金の時効析出」(第3回)の準備状況 4. その他開催事業について 5. 学会HPへの企画委員会原稿案 6. 軽金属学会の『強み』と『弱み』について 	<p>説明を受け、確認した。</p> <p>説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。</p> <p>継続して案を検討することとした。 一部修正のうえ、承認した。 原案を総合計画委員会に提出する。</p>
第201回	平成22年10月21日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 軽金属基礎講座の開催結果報告 2. 第31回軽金属セミナー「アルミニウム合金の時効析出」(第3回)の準備状況 3. その他の開催事業について 	<p>説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。</p> <p>継続して案を検討することとした。</p>
第202回	平成22年12月9日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第31回軽金属セミナー「アルミニウム合金の時効析出」(第3回)の開催結果報告 2. その他の開催事業について 3. 軽金属学会の『強み』と『弱み』に関する企画委員会の課題と対応について 	<p>説明を受け、確認した。</p> <p>継続して案を検討する。 説明を受け、確認した。</p>
第202回	平成23年2月9日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高信頼性ダイカストのシンポジウム準備状況報告 2. 集合組織研究部会シンポジウム共催の件 3. 軽金属基礎技術講座準備について 4. セミナービデオの目的および活用方法について 5. 次期委員会への引継ぎ事項について 	<p>継続して案を検討する。</p> <p>第121回秋期大会中に大会会場にて開催するとの原案を承認した。 日程案、世話人を決定した。 次期委員会の検討課題とした。 議論の結果をまとめて次期委員会へ申し送る。</p>

(5)編集委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第535回 幹事会	平成22年4月6日	1. 軽金属4、5月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属6月号の掲載内容決定 5. 60周年記念の特集号を発刊	説明を受け、確認した。 掲載可否を検討した。 依頼内容を検討、承認した。 掲載内容を検討、決定した。 2011年11月を特集号とすることを決定した。
第536回 幹事会	平成22年5月7日	1. 軽金属5、6月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属7月号掲載内容決定 5. Mater.Trans.ICAA12 特集号について 6. 次期連載講座について	説明を受け、確認した。 掲載可否を検討した。 依頼内容を検討、承認した。 掲載内容を検討、決定した。 方針を討議した。 基本方針を検討した。
編集委 員会	平成22年5月23日	1. 60周年記念連載講座について 2. 研究部会報告書に既発表の内容を研究論文として投稿可能とする件について 3. ICAA12 プロシーディング校閲の進捗状況 4. 60周年記念特集号について	討議し、継続検討することとした。 原案を承認し、理事会に諮ることとした。 校閲への協力を改めて依頼した。 説明を受け、確認した。
第537回 幹事会	平成22年6月1日	1. 軽金属6、7月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属8月号掲載内容決定 5. 次期連載講座に関して	説明を受け、確認した。 掲載可否を検討した。 依頼内容を検討、承認した。 掲載内容を決定した。 基本方針を決定した。
第538回 幹事会	平成22年7月7日	1. 軽金属7、8月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属9月号掲載内容決定 5. 次期連載講座について	説明を受け、確認した。 掲載可否を検討した。 依頼内容を検討、承認した。 掲載内容を決定した。 説明を受け、確認した。
第539回 幹事会	平成22年8月9日	1. 軽金属8、9月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属10月号掲載内容決定 5. 次期連載講座について	説明を受け、確認した。 掲載可否を検討した。 依頼内容を検討、承認した。 掲載内容を決定した。 説明を受け、確認した。
第540回 幹事会	平成22年9月13日	1. 軽金属9、10月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属11月号掲載内容決定 5. 次期連載講座について 6. ホームページリニューアルの件 7. Mater.Trans.ICAA12 特集号について 8. Materials Transactions 掲載論文の和訳を投稿・掲載料無料で軽金属に掲載する制度について	説明を受け、確認した。 掲載可否を検討した。 依頼内容を検討、承認した。 掲載内容を決定した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 更なる延長(3年間)を理事会に提案することとした。
第541回 幹事会	平成22年10月6日	1. 軽金属10、11月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属12月号掲載内容決定 5. Mater.Trans.ICAA12 特集号について	説明を受け、確認した。 掲載可否を検討した。 依頼内容を検討、承認した。 掲載内容を決定した。 審査校閲の基本方針を確認した。
第542回 幹事会	平成22年11月8日	1. 軽金属11、12月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属1月号掲載内容決定 5. 60周年記念の軽金属の特別編集号について	説明を受け、確認した。 掲載可否を検討した。 依頼内容を検討、承認した。 掲載内容を決定した。 内容の基本方針を確認した。
編集委 員会	平成22年11月14日	1. 60周年記念連載講座について 2. 60周年記念特集号について 3. Mater.Trans.ICAA12 特集号について 4. Mater.Trans 掲載論文を「軽金属」に和訳同時投稿時の投稿掲載料無料制度の延長について	説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 さらに3年間延長することを理事会に諮ることとした。
第543回 幹事会	平成22年12月1日	1. 軽金属12、1月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件	説明を受け、確認した。 掲載可否を検討した。 依頼内容を検討、承認した。

		4. 軽金属 2 月号掲載内容決定 5. Mater.Trans.ICAA12 特集号について	掲載内容を決定した。 重複規定の内容を確認した。
第 544 回 幹事会	平成 23 年 1 月 12 日	1. 軽金属 1、2 月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属 3 月号掲載内容決定 5. Mater.Trans.ICAA12 特集号について	説明を受け、確認した。 掲載可否を検討した。 依頼内容を検討、承認した。 掲載内容を決定した。 掲載可否を検討した。
第 545 回 幹事会	平成 23 年 2 月 7 日	1. 軽金属 2、3 月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属 4 月号掲載内容決定 5. Mater.Trans.ICAA12 特集号について 6. 60 周年記念の軽金属の特別編集号について	説明を受け、確認した。 掲載可否を検討した。 依頼内容を検討、承認した。 掲載内容を決定した。 掲載可否を検討した。 内容構成を確認した。総合計画 委員会に提案することとした。
第 546 回 幹事会	平成 23 年 3 月 1 日	1. 軽金属 3、4 月号の進捗状況に関する件 2. 校閲報告に関する件 3. 依頼原稿に関する件 4. 軽金属 5 月号掲載内容決定 5. Mater.Trans.ICAA12 特集号について 6. 60 周年記念の軽金属の特別編集号について	説明を受け、確認した。 掲載可否を検討した。 依頼内容を検討、承認した。 掲載内容を決定した。 掲載可否を検討した。 連載開始月を 5 月と決定した。

(6) 広報委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第 4 回	平成 22 年 5 月 12 日	1. ホームページ小委員会進捗状況報告	説明を受け、基本方針を承認した。
第 5 回	平成 22 年 7 月 28 日	1. ホームページ原稿改訂進捗状況 2. ホームページ提案書および見積書 3. 軽金属学会の『強み』と『弱み』について	説明を受け、確認した。 2 社の見積案を検討し、ホームペ ージ小委員会に委ねることとした。 自由討議を行なった結果を総合計画 委員会に提出することとした。
第 6 回	平成 22 年 11 月 17 日	1. ホームページ小委員会進捗状況報告 2. 軽金属学会の『強み』と『弱み』に関する広報 委員会の課題と対応について	説明を受け、確認した。 当委員会に関連する部分を、次期 委員会の活動に活用する。
第 7 回	平成 23 年 2 月 10 日	1. ホームページ小委員会進捗状況報告 2. 次期委員会への引継ぎ事項について	内容の検討を実施し、一般公開を 4 月第 2 週以降にすることとした。 送り事項を検討し、承認した。

(7) 国際交流委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第 7 回 ICAA12 実行委員 会・組織 委員会	平成 22 年 4 月 26 日	1. 進捗状況報告および準備スケジュール確認 2. 進捗状況報告(展示) 3. 進捗状況報告(工場見学) 4. 進捗状況報告(会場, パンケット) 5. プログラム案・座長案について 6. Proceedings 査読について	説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。
第 8 回 ICAA12 実行委員 会・組織 委員会	平成 22 年 7 月 22 日	1. 組織委員会からの報告 2. 準備スケジュール確認、参加登録状況報告 4. 進捗状況報告(展示) 5. 進捗状況報告(工場見学・エクスカージョン) 6. 進捗状況報告(プログラム案, 座長案) 5. Proceedings 査読・論文集編纂について 6. 進捗状況報告(会場, パンケット等)	説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。
第 5 回	平成 22 年 10 月 14 日	1. ICAA12 実施報告 2. 軽金属の『強み』と『弱み』に関する意見収 集への回答について 3. ICP meeting と Asian Forum について	説明を受け、確認した。 意見交換の結果を総合計画委員会 に提出する。 2 年後の AFLM, ICP meeting を日本 で開催する案を次回 ICP meeting に 提案することを決定した。
第 9 回 ICAA12 実行委員 会・組織	平成 22 年 11 月 1 日	1. 組織委員会からの報告 2. ICS よりの報告(参加者数、終了後の対応諸件) 3. 会計報告 4. 感想、反省点など	説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 各委員から意見が述べられた。

委員会			
第6回	平成23年1月17日	1. 2010Asian Forum on Light Metals(AFLM)報告 2. 第6回 ICP Meeting 報告 3. AFLM および ICP の今後のあり方について	説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 基本方針の叩き台を作成し、次回委員会にて方針を決定する。

(8)大会運営会議

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第3回	平成22年7月27日	1. 前回(第118回春期大会)の反省点に関して 2. テーマセッションの募集日程について 3. 第119回秋期大会について 4. 第120回春期大会の開催計画について 5. 大会運営会議 HP 案について 6. 軽金属学会の『強み』と『弱み』について 7. 若手の会について 8. 女性会員の会について 9. 講演申込時期に関して	説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 委員長宛に案を提出し、委員長がまとめて総合計画委員会に提出する。 説明を受け、確認した。 大会中の託児所設置に関する提案を理事会に諮ることとした。 継続して検討することとした。
第4回	平成23年1月25日	1. 前回(第119回秋期大会)の反省点に関して 2. テーマセッションの募集日程について 3. 研究部会からの報告会開催希望について 4. 第120回春期大会について 5. 第121回秋期大会の開催計画について 6. 学会中の託児所設置について 7. 若手の会について 8. 次期委員会への送り事項について	学生会員の懇親会費(事前登録)を1000円とし、第121回秋期大会からの実施を理事会に諮ることとした。 説明を受け、確認した。 説明を受け、原案を承認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 原案を理事会に諮ることとした。 説明を受け、確認した。 委員長宛に意見を連絡することとした。

(9)研究委員会

会議名	開催年月日	議事事項	会議の結果
第5回	平成22年6月7日	1. 平成21年度決算および平成22年度予算案 2. 研究部会進捗状況報告 3. 新規研究部会「高機能押出加工技術研究部会」の設立について 4. 常設部会の報告について 5. HP 案原稿作成の件 6. 軽金属学会の『強み』と『弱み』について 7. 第19回材料戦略委員会報告 8. 常設部会と研究部会の在り方について	説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 提案を承認した。 説明を受け、確認した。 報告を承認、方針を決定した。 委員長へ意見を提出することとした。 説明を受け、確認した。 委員長と副委員長で協議し、今後の方向性を示すこととなった。
第6回	平成22年9月15日	1. 研究部会平成22年度事業中間報告について 2. 新規研究部会「高機能押出加工技術研究部会」の設立について 3. 常設部会関係の報告について 4. 委員会紹介 HP 原稿案	説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、原案を承認した。
第7回	平成22年12月13日	1. 研究部会進捗状況報告 2. 研究期間の延長について 3. 「自動車用アルミ合金の低コスト化技術」WG 立上げ検討状況 4. 60周年記念講演会について 5. 軽金属学会の『強み』と『弱み』に関する研究委員会の課題と対応について 6. 常設部会の進め方について 7. 産学共創基盤研究について 8. 軽圧6社の委員による企業ニーズのまとめ 9. アルミニウム協会ロードマップ個別テーマ	説明を受け、確認した。 2件の説明を受け、原案を承認した。 説明を受け、確認した。 各委員が意見を提案することとした。 説明を受け、確認した。 委員長から改善案を提案することとした。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。 2010 版のロードマップが配布された。

第8回	平成23年3月4日	1. 研究部会平成22年度活動報告・決算(見込み)および平成23年度事業計画 2. 研究部会新設について 3. 常設部会の進め方について 4. 第3回自動車用アルミ合金の低コスト化技術交流会について 5. 60周年記念講演会について 6. 次期委員会への引継ぎ事項 7. 小委員会の経過報告 8. 材料戦略委員会 9. 「産学共創基盤研究事業申請」の経過報告	説明を受け、承認した。 5件の提案について承認した。次期研究委員会の課題として引継ぐこととした。 説明を受け、確認した。 「自動車の将来」に関する講演会を計画することとし、3名の記念講演候補者を推薦した。 説明を受け、承認した。 説明を受け、確認した。 説明を受け、確認した。
-----	-----------	---	--

[4]許可、認可、承認、証明に関する事項

連絡年月日	議事事項	履行状況
平成22年12月1日	一般社団法人移行認可申請	公益認定等委員会へ、一般社団法人への移行認可を電子申請入力。
平成23年1月14日	修正可能書類通知書	公益認定等委員会より受領。修正書及び関係書類を作成。1月14日電子申請入力。
平成23年2月18日	修正可能書類通知書	公益認定等委員会より受領。修正書及び関係書類を作成。2月23日電子申請入力。
平成23年3月25日	認可書	公益認定等委員会より受領。一般社団法人としての認可を受ける。平成23年4月1日登記に向けて準備を行う。

[5]契約に関する事項 該当なし

[6]寄付金に関する事項 該当なし

[7]主務官庁からの連絡および報告事項

連絡年月日	議事事項	履行状況
平成22年6月25日	平成21年度事業報告及び収支決算報告書および事業計画、収支予算書の変更届	郵送にて提出
平成22年6月28日	文部科学大臣の所管に属する特例民法法人の業務等の実地検査の実施について(通知)	7月21日の実地検査を了解。その後、8月6日への変更依頼があり、これを了承。
平成22年8月23日	実地検査の結果について(通知)	通知内容を了解し、改善を進めた。
平成22年12月3日	【作業依頼】平成22年度特例民法法人概況調査及び新公益法人制度への円滑な移行に関するアンケート	10月14日メールにて回答を送付。
平成22年12月3日	【要請】特例民法法人における無報酬役員に対する謝金等の調査結果を踏まえた対応について	12月3日メールにて回答。
平成22年12月15日	【調査依頼】最近の天下り・渡りの実態に関する予備的調査(第一弾)	12月15日メールにて回答。
平成22年12月24日	実地検査改善報告書	文部科学省へ持参提出。

[8]その他重要事項 特になし

[9]会員動向

()内は内数

	名誉会員	永年会員	個人会員				合計
			正会員	学生会員	外国人	合計	
平成 23 年 4 月 1 日	49	67	1,705	264	(8)	1,969	2,085
平成 22 年 4 月 1 日	47	63	1,703	203	(7)	1,906	2,016
差引増減	2	4	2	61	(1)	63	69

正会員の内訳

	大学・高専等	公的研究機関	企業等	その他	合計
平成 23 年 4 月 1 日	447	88	1,103	67	1,705
平成 22 年 4 月 1 日	429	88	1,115	71	1,703
差引増減	18	-	△12	△4	2

特別維持会員・維持会員・年間購読の内訳

	特別維持会員	維持会員	口数									年間購読
			10	8	6	5	4	3	2	1	合計	
平成 23 年 4 月 1 日	6	107	3	0	0	0	1	2	16	85	157	90
平成 22 年 4 月 1 日	6	112	3	0	1	0	1	2	16	89	167	158
差引増減	-	△5	-	-	△1	-	-	-	-	△4	△10	△68